上越市議会議員　宮﨑朋子

― ミヤザキトモコ　ギカイツウシン ―

議 会 通 信

◆定例会審議のポイント(9月/12月)
◆新市政始動でどう変わる？
◆災害対応 その後
◆宮﨑の一般質問

＊災害時の井戸水活用について
＊地域の果樹園芸を守るために
＊大型鳥獣被害に対する市の対策について
＊市長公約のトイレ整備について

◆地域の今とこれから

＊ロマン感じるこの風土/上越管内の雇用状況

◆議員活動奮闘記

～議会の本分とは？～

Vol,21

発行月　2026年1月

所属

- 会派　つなぐ 代表
- 厚生常任委員会
- 議会運営委員会副委員長
- 議会改革特別委員会
- 災害対策特別委員会
- 県道新井柿崎線整備促進議員連盟副会長
- 保倉川放水路整備促進議員連盟
- 日韓親善上越市議会議員連盟
- 防災士議連
- 三和区国県道整備促進期成同盟会
- 桑曽根川・鉑川改修促進期成同盟会
- 飯山・牧閒県道昇格並びに整備促進期成同盟会

事務所

〒943-0231
新潟県上越市三和区鴨井471
携帯 090-3545-6087
q8s-3n8h@joetsu.ne.jp
FAX 025-333-0424

市民のために果敢に取り組みます！

今と未来のための福祉政策を推進！

新しい議会運営に取り組みます！

発行者/上越市議会議員　宮﨑朋子

表紙の色「サパン」フランスの伝統色。もみの木の深い緑を表し、希望や堅実さの象徴。

YouTube
B面ともこ配信中！

後援会HP
https://miyazakitomoko.jp/

パソコン、携帯、スマホから是非ご覧ください。

YouTube　B面ともこ

宮﨑朋子 議員活動 奮闘記

～議会の本分とは？～

議員は選挙では「上越市を〇〇します！」と声高に叫ぶけれど、一人で出来ることは限られている。それを思い知った令和７年でした。市民のために必要な政策や条例の実現には、議会全体が動くことが大事。一人一人の立場や考え方は違えど、市民のために必要なことは総意として取り組む。そのエンジンが議会であることを再認識でき、心が丈夫になった１年でもありました。その学びを糧に、これからも邁進してまいります。

活動記録（8/11～12/31）

●令和8年3月議会の予定
2月27日（金）～3月24日（火）
議会傍聴に是非お越しください！

●市内行事参加（三和区敬老会／三和区体育祭／さんわ駅伝大会／さんわ文化祭　他）
●市民要望の調査、立会等（要援護世帯の支援体制・林道整備・突風被害対策・道路整備・橋梁補修・農業・文化財保護・公の施設の適正配置・観光・鳥獣対策 他）
●オンラインセミナー（公共ライドシェア）
●調査研究（道路整備／防災減災／河川／観光／農業／歴史文化事業／教育／障害者雇用支援／環境美化　他）
●代表者会議（５回）●議会運営委員会（２回）
●議会改革分科会（議員定数について）
●議会改革推進特別委員会（３回）
●三市議会合同研修会（いま、地方議会に求められること）
●議員勉強会（上越市の医療を考える／上越管内の雇用状況と傾向・人材不足の課題）
●視察研修　①議会改革特別委員会（長野市と浜松市における議員定数検討の取り組み）
②保倉川放水路整備促進議員連盟（信濃川大河津分水路整備事業）
③上越市食料農業農村議員連盟（上江・中江幹線用水路の取り組み）
●保倉川放水路整備促進議員連盟勉強会
●政策研究会（２回）●広報公聴参加（11月）
●議会通信発刊（８月）●会派勉強会（３回）
●9月定例会（9月2日～9月25日）
●12月定例会（12月4日～18日）●一般質問（9月19日／12月12日）●厚生常任委員会（9月8日・9日／12月9日）●議会報告　11ケ所　他

令和の大改修を現地で視察し、あらためて防災減災、治水対策の必要性を学びました。（大河津分水路）

地域の今とこれから

◆ ロマン感じるこの風土

三和区にある弥五郎遺跡は、令和元年・3年度に発掘調査が行われ、上層では平安時代、下層では古墳時代の遺構や遺物が検出されています。その下層部からおよそ1700年前の装飾品とみられるガラス玉が発見されました。
令和7年10月、その一般公開と発掘現場を見学いたしました。それは深い青緑色。専門家からは、これがどこから来たのかなど今後分析していくと説明がありました。開通待ち望まれる上越三和道路ではありますが、古代の人々の暮らしの上に私たちの今がある。と考えると実に感慨深いものがあります。

◆上越管内の雇用状況

上越市議会は令和７年10月、上越管内の雇用状況について学びました。年齢別では34歳以下が少なく、45歳以上は増加傾向。加えて、今後の地域経済を担う25歳～29歳の男性は5人に1人、女性は3人に1人がここに居ない状況とのこと。
変わったのは求職・求人の方法。今や、求人情報サイトやSNSが多いとのこと。
公共サービス機関においても、マザーズコーナーや、わかもの支援窓口、長期療養者就職支援窓口など相談しやすい体制づくりをしています。地域を支える企業の継続と、働く人が居てこその上越地域。議会ももっと声を聞いていくべきと感じました。

定例会審議のポイント（９月/12月）

●９月定例会●

令和６年度歳入・歳出決算

一般会計歳入合計	114,006,841,449円
〃　歳出合計	109,462,485,775円
歳入歳出差引残高	4,544,355,674円
実質収支	3,216,890,000円

①財政の通知表とも言える財政健全化４指標では、全ての比率で警戒ラインを下回った。
②国の定額減税の影響により、市税は2,4%減。実質的な普通交付税は6,3%増。
③普通建設事業費は、上越斎場等の整備により16,0%の増。市道除排雪費等の維持修繕費は49,8%の増。
④ふるさと納税は６億４千万に。（前年度の約３倍！）

●12月定例会●

一般会計予算	104,595,028,000円
12月補正予算	1,355,121,000円
計	105,950,149,000円

令和８年度からの施行を目指す、各種条例改正の議案審議等を行いました。

①原料ガス購入価格の改定に伴う都市ガス料金の改定。
②持続可能な事業経営に必要な収入を確保するための下水道使用料等の改定。
③物価高騰等に伴う18施設（公の温浴施設等）の使用料及び利用料金の上限額の改定。
④令和７年の渇水対応の検証は年度内に行う。

新市政始動でどう変わる？

小菅市長就任後、初めてとなる12月定例会では、市長の公約やこれまでの市の事業、そして山積する地域課題についての質疑が中心となりました。

市長公約　どう進めていくのか？

１）13区の地域振興と活力向上
これまで取り組んできたモデル地区での取組を全市的につなげていくことも重要と考える。

２）13区における子どもセンターの創設
世代間交流の場をイメージしている。各区の人口のバランスや利便性等を考慮し、複数設置を検討。公の空き施設利活用での費用削減や、国県補助金の活用なども含め、令和８年度中に１ヶ所程度は設置したい。

これまでの事業をどうしていくのか？

１）通年観光計画
８年度の予算編成も見据え、今後の方針を検討している。

２）地域独自の予算
複数の課題も見えてきた。その上で制度全般に関して様々な角度から検証していく。

３）上越地域医療センター病院の改築
現場にて老朽化の現状を認識した。遅くとも令和８年12月には基本設計に着手できるよう準備をしていきたい。

令和８年度は、第７次総合計画の後期計画の検討が始まります。前期の進捗や課題を分析する重要な年。議会もしっかりと検証し、今と未来へ向けて提言してまいります。

突風被害～想定をはるかに超えた災害にどう立ち向かう？～

令和7年9月10日に三和区をはじめ、6区において突風被害が発生。
その被害は甚大で、今もなお日常を取り戻せない方々もいらっしゃいます。
市議会では、9月定例会において早期支援を市に求める意見書を提出。
市は、倒木処理費にかかる支援策を(10月16日～令和8年2月2日まで。条件あり。上限10万円)創設。
「いったい何が起こって、どうすればいいのか？」高齢者も多いからこその、行政はじめ関係各所の正確かつ敏速な対応が、今後はより必要です。

詳しくは、上越市ＨＰ及び、かけはしをご覧ください　→　**https://www.city.joetsu.niigata.jp/**

宮﨑ともこの一般質問

質問（９月）渇水や災害時における今後の取組について

Ｑ　災害時の井戸水利用の利点は、住民の近くで素早く給水体制を構築できることにある。個人や事業者所有の井戸を災害時に開放する、災害時協力井戸登録制度の導入を検討すべきではないか？

Ａ　登録制度に関しては、地盤沈下への影響や所有者の情報管理、水質確認の方法など、整理する課題が多い。まずは行政の応急活動を基本とし、引き続き自治体事例などを注視していきたい。

質問（９月）地域に根差した果樹の生産者団体に対する支援について

Ｑ　果樹生産地では、高齢化と担い手不足、異常気象などが事業継続に大きな影響を及ぼしていると考える。地域に根差した団体の体制強化について市の関わりはどうか？

Ａ　これまで様々な支援等で関係性を構築してきたが、引き続き生産者団体の意向や要望をお聞きし、その活動状況や課題に応じた適切な支援に意を用いていく。

質問（12月）クマやイノシシ等の深刻化する被害について

Ｑ　大型鳥獣による被害は、農業、経済、教育など市民生活全般に関わる問題である。市として、分野横断的な対策に取り組むための部署を設置する必要があると考えるがどうか。

Ａ　国・県の支援制度の動向、当市における鳥獣出没時の影響の範囲等を見極めながら、先行事例も参考に、効果的な業務が図れる組織体制となるよう、不断の見直しの中で適時適切に検討していきたい。

質問（12月）市長公約で掲げるトイレ整備の方向性と期待する効果は？

Ａ　観光やおもてなし、まちのイメージ向上、そして市民生活全体の質の向上につながると考えている。

Ｑ　公共施設の場合、長寿命化計画や適正配置計画との整合性は？

Ａ　公の施設のトイレは５００を超え、屋外においては２０００もある。まずは不特定多数が利用する公の施設のトイレの点検を行い、優先順位をつけて取り組んでいきたい。学校等は、従来の計画の中で整備を進めていく。

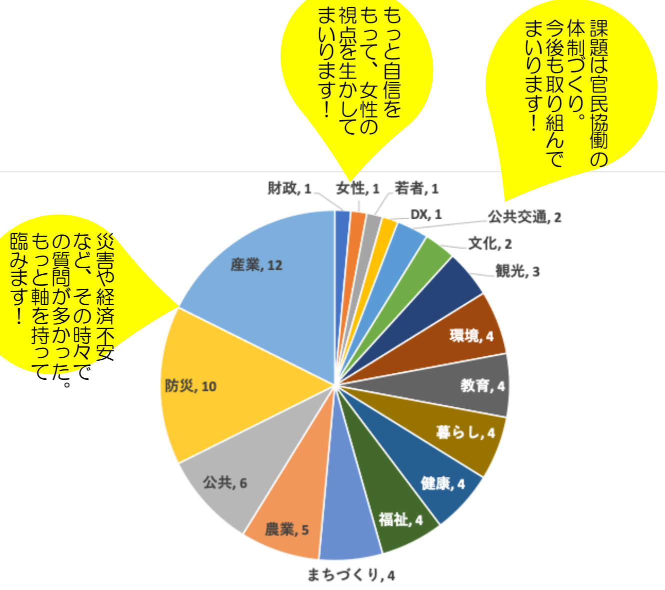
県内保守系女性議員の会にてクマ被害対策の強化を県知事に要望！

私からは３点を要望いたしました。
①河川沿いや道路脇の雑木伐採
②通学路の安全の確保
③研究機関・地元大学との連携による「出没予測ＡＩ」導入。
他自治体の女性議員のご意見も、とても参考になりました。

宮﨑ともこ 一般質問の振り返り

（令和２年度～７年度９月現在）

一般質問は、議員個人が市の事業や市政について問える場です。再度、進捗や課題を確認しながら、市民の良いことに繋がるよう仕事をしてまいります。



約６年間の一般質問の項目と回数

委員会活動

❶ 厚生常任委員会

これまで、上越地域の医療現場及び、酒田市の日本海総合病院への視察、市内障害者福祉団体との意見交換会などを経て、検討した内容を委員会としてまとめていきます。

❷ 災害対策特別委員会

石川県珠洲市への視察、直江津地区の皆様のご意見を伺い、当市の津波対応や避難所の在り方などを検討してまいります。